

**ラジオ放送聴取等の実態に関する
調査研究報告書
〈概要〉**

**令和7年3月
総務省地上放送課**

調査概要

※調査は株式会社みずほリサーチ&テクノロジーズが総務省の請負事業(調査期間:令和6年10月~令和7年3月)として実施。

ラジオ放送について、地形的・地理的要因、外国波混信、電子機器の普及や建物の堅牢化等により、難聴が増加していることから、FM補完中継局の制度整備を行い、受信環境の改善等を図っているところである。AM放送からFM放送への転換等が行われる場合、FM補完放送(ワイドFM)対応の受信機の普及が課題となっている。そこで、ワイドFMの聴取実態等について調査・分析を行うことにより、今後のワイドFMへの対応策及び普及方策に関する検討を目的とする。

調査対象	調査方法
① 住民	インターネット調査
○各都道府県の10代(15歳以上)~70代男女を、各年代15名ずつ抽出。(1都道府県当たり210名) ○住民基本台帳の全国の人口分布(2024年)に合わせ、 都道府県×年代×性別を用いたウェイトバック集計を実施。(N=110,491,556)	
② 業界団体・メーカー	質問紙調査
○主要なラジオ製造メーカー及び自動車メーカー(乗用車、トラック・バス・輸入車含む)に対し、 ワイドFMに対応した受信機の普及状況調査を実施。	

調査内容	
① ラジオ聴取者の傾向(プロフィール)	○生活意識/趣味・趣向/日頃行っていること
② ラジオ放送の聴取実態	○AM・FM・インターネットラジオの聴取目的/聴取状況/認知度
③ FM補完放送(ワイドFM)の聴取実態	○認知度/理解度/聴取状況/受信機・ラジオ等の普及率
④ AM局の運用休止による実態	○休止事業者に対する聴取者からの問合せ状況/対応・取り組み
⑤ ラジオ放送に関する普及方策の検討	○AM停波時の影響

聴取者の定義

(全体 N= 11,049 (単位:万※))

※以下同様に、Nの数値の単位は全て万とする。

分類	定義	数(全体に対する割合)
○ ラジオ放送接触者	媒体・頻度問わず、ラジオを聴いている者	5,102(46.2%)
○ ラジオ聴取者	媒体問わず、月に1日以上、ラジオを聴いている者	3,967(35.9%)
○ AMリスナー	媒体問わず、月に1日以上、AMラジオを聴いている者	2,957(26.8%)
○ FMリスナー	媒体問わず、月に1日以上、FMラジオを聴いている者	3,177(28.8%)
○ ネットリスナー	月に1日以上、インターネットラジオを聴いている者 ※ダウンロードpodcast含む	1,851(16.8%)
○ ワイドFMリスナー	月に1日以上、ワイドFMを聴いている者	1,050(9.5%)
○ AMのみリスナー	[AMリスナー]または[ワイドFMリスナー]であるが [FMリスナー]ではない者	512(4.6%)

聴取者タイプ別の傾向

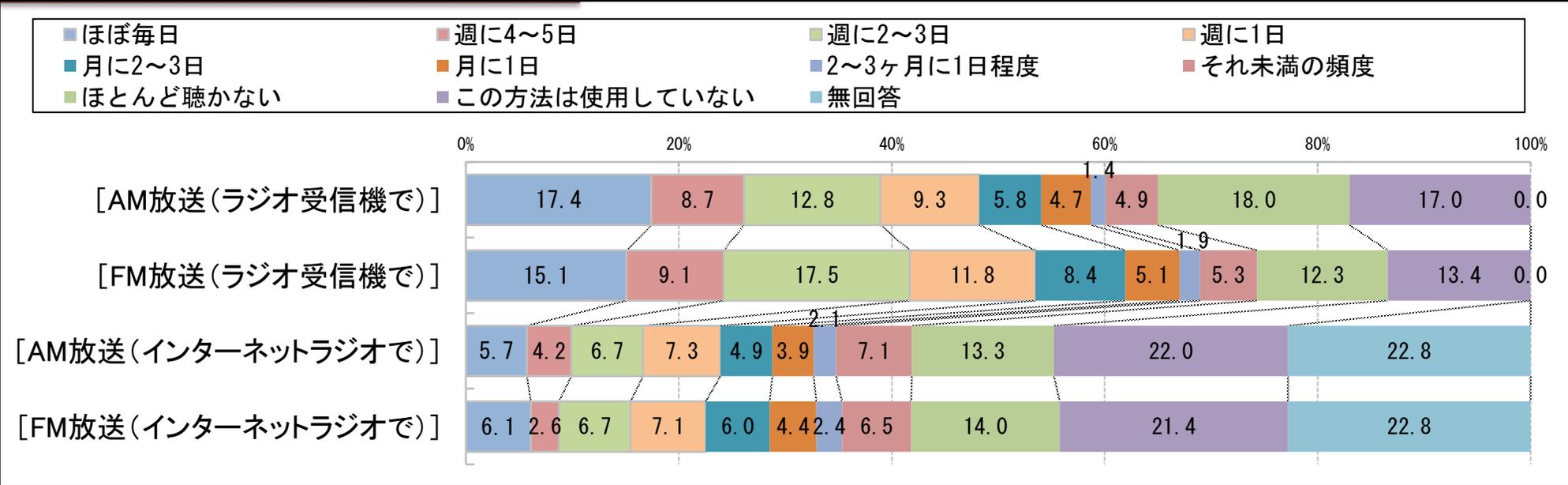
(全体 N=11,049)

- ✓ ラジオ聴取者は調査対象全体の35.9%。年齢層は、男性・女性ともに50代～70代の割合が高く、ラジオ聴取者の半数を占める。インターネットラジオに限れば、20代、30代の割合が高い。
- ✓ 聴取機器は、カーオーディオ、スマートフォンの利用が高く、自宅や通勤・通学中の聴取が多い。
- ✓ 聴取時間帯は、特に午前中の割合が高い傾向にある。ネットリスナーは、夕方から夜間の聴取も多い。
- ✓ 全体的に、BGMの代わりに習慣としてラジオを聴取している傾向にある。ネットリスナーは、好きな番組を聴くことを目的にしている傾向にある。

分類	ラジオ聴取者	AMリスナー	FMリスナー	ネットリスナー
比率	35.9%	26.8%	28.8%	16.8%
性別・年代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢層>若年層 ・男性70代>女性70代 ・男性50代 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢層の割合が特に高い ・男性70代が特に多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・50代の割合が高い ・男性70代の割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・20代、30代の割合が高い ・30代男性>20代男性
職業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社員(系統問わず) ・無職>専業主婦(主夫) 		<ul style="list-style-type: none"> ・会社員(系統問わず) ・無職>パート・アルバイト 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社員(系統問わず) ・無職>パート・アルバイト ・学生の比率が比較的大きい
聴取機器	<ul style="list-style-type: none"> ・カーオーディオ・カーナビ>スマートフォン及び電子端末のアプリ>ポータブルラジオ 			<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン(アプリ)>カーオーディオ・カーナビ>スマートフォン(ラジオ機能)
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅/通勤・通学の時間/自動車乗車中 			
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から夜までコンスタントに聴かれている(特に午前中が高い) 			<ul style="list-style-type: none"> ・夕方から夜間の聴取が多い
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・習慣として、BGMの代わりに 			<ul style="list-style-type: none"> ・好きな番組を聴く
趣味	<ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行/ショッピング/日帰りの行楽 ・読書芸術鑑賞 			<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・スポーツ活動

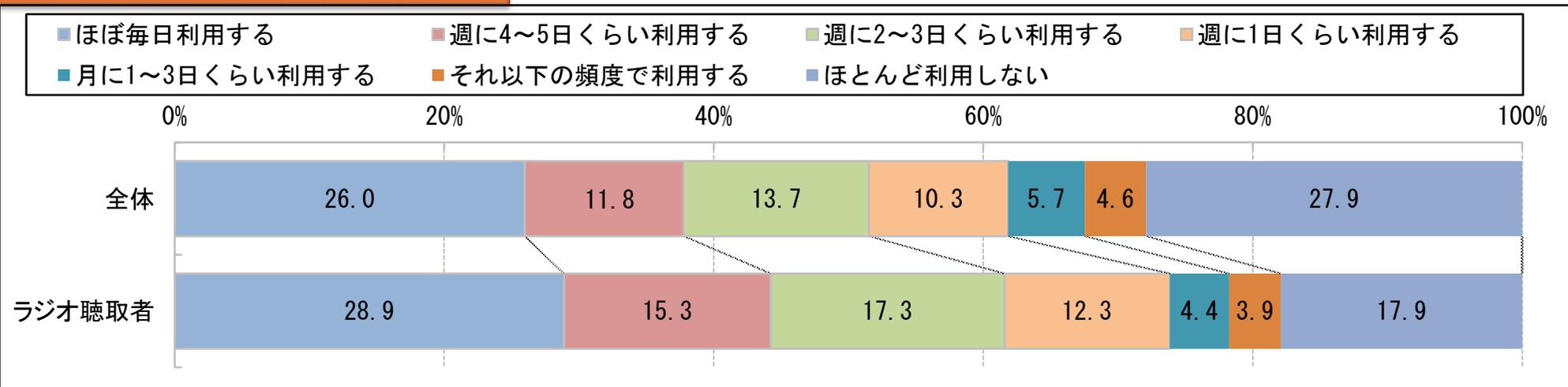
ラジオ聴取者の媒体別ラジオ接触頻度

(ラジオ聴取者 N= 3,967)



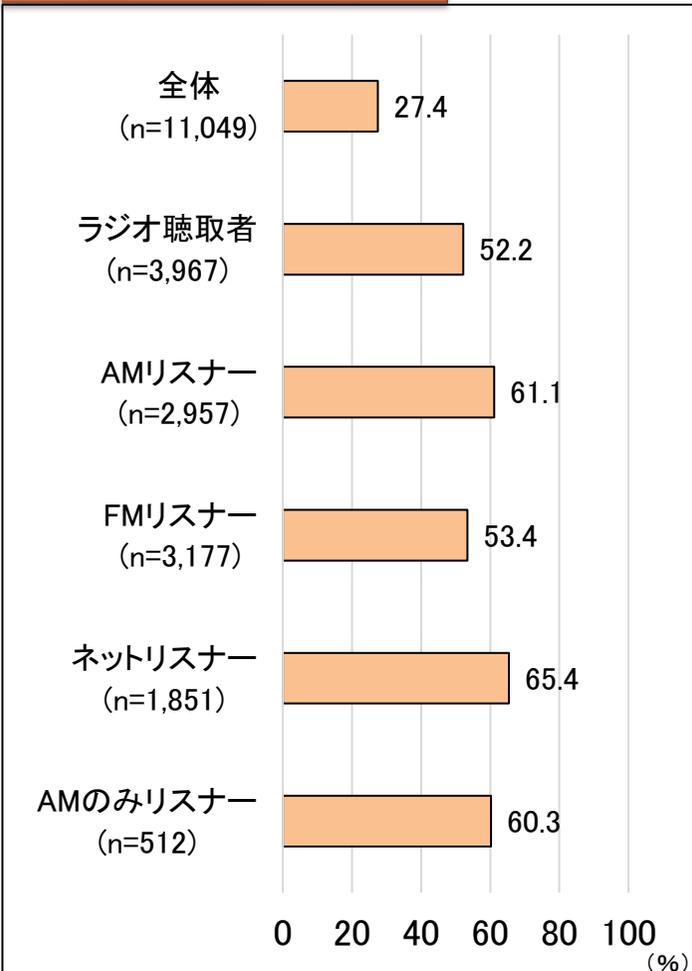
ラジオ聴取者の自動車利用状況

(ラジオ聴取者 N=3,967)

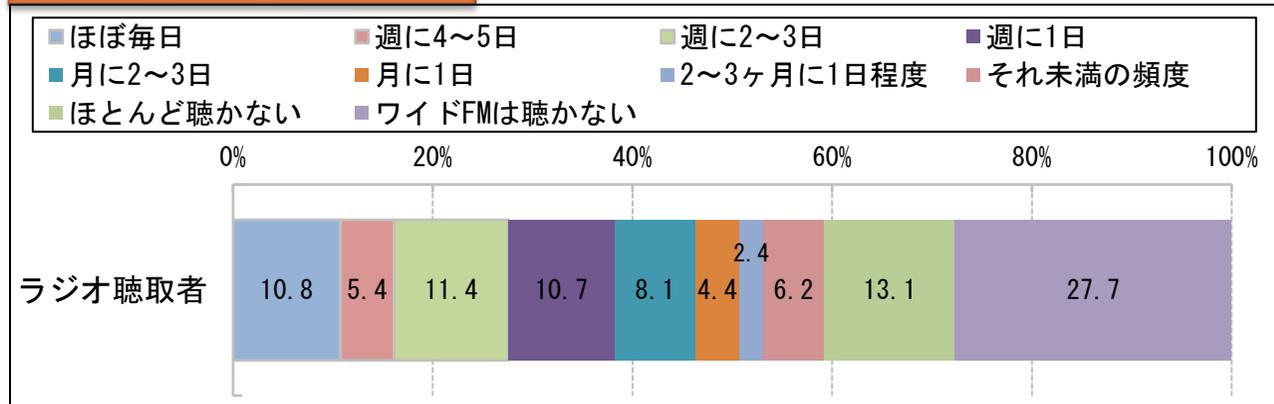


- ✓ ワイドFMの認知度は全体の27.4%。ラジオ聴取者の中では52.2%。昨年度の調査結果(※1)では、全体は23.9%、ラジオ聴取者では47.6%であり、認知度は向上している傾向にある。
- ✓ 月1日以上ワイドFMを聴取する割合は、ラジオ聴取者の50.7%と、約半数に達している。
- ✓ 聴取した印象としては、「音質がいい」「雑音が少ない」といった、音質に関わる点が認識されている。

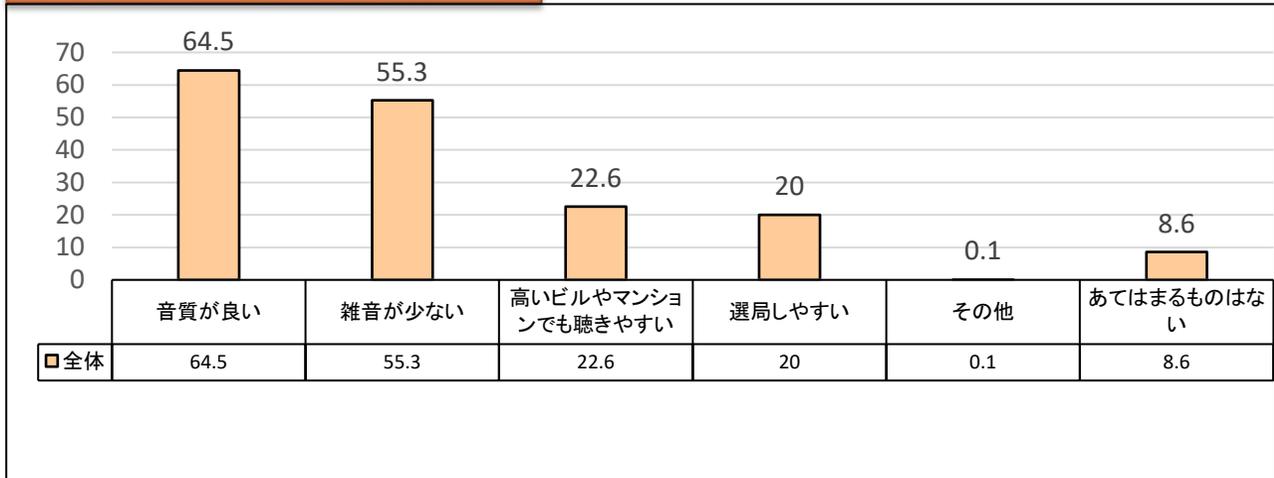
ワイドFMの認知度



ワイドFMの聴取頻度



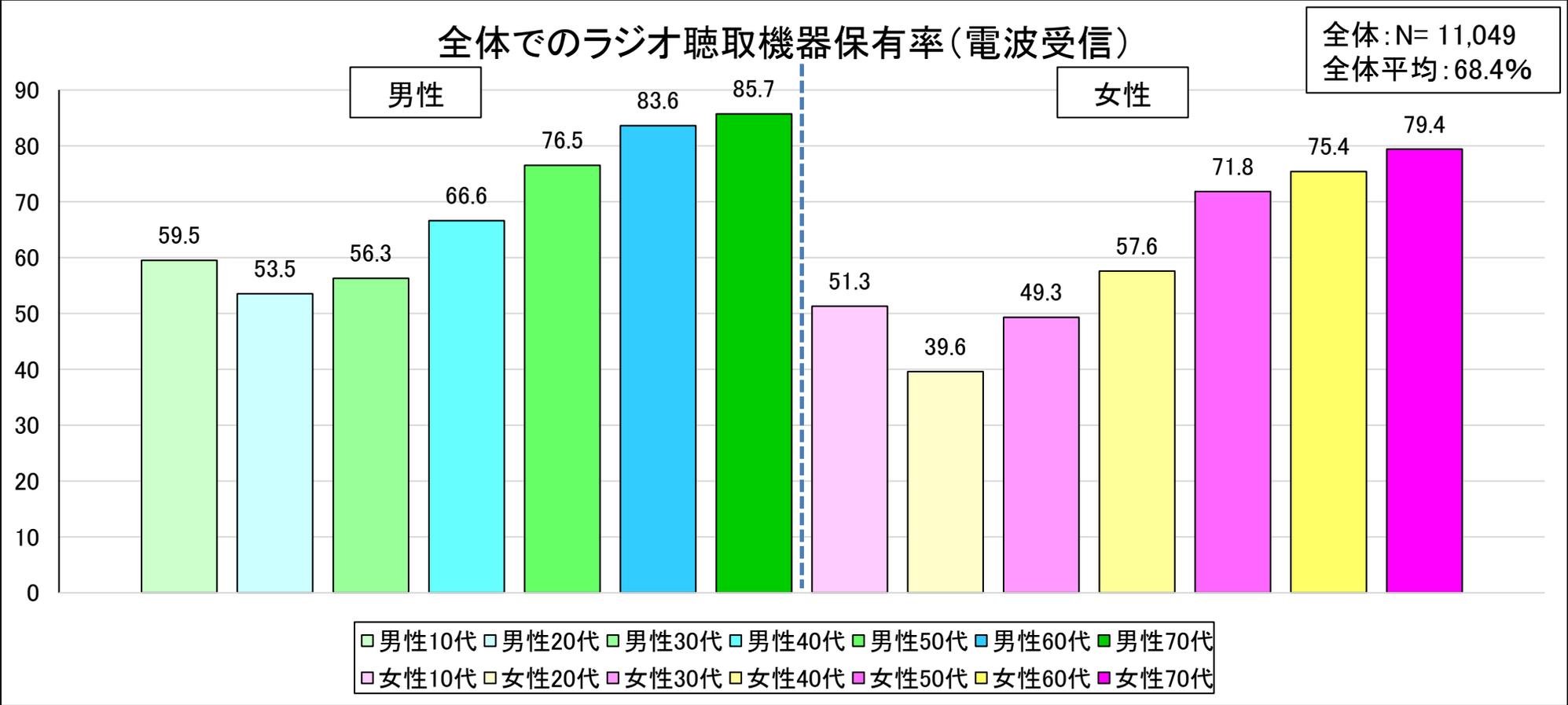
ワイドFMを聴取した印象



(※1) https://www.soumu.go.jp/main_content/000956240.pdf

ラジオ受信機保有率

- ✓ ラジオ聴取機器の保有率は全体で68.4%で、ラジオ聴取者のうち、40.4%がワイドFM対応機器を所有している。男性・女性の50代～70代は全体よりも保有率が高くなっている。
- ✓ 他方、男性・女性の10代～40代では、保有率が全体を下回っている。



※ラジオ聴取機器保有率(電波受信)にインターネットから聴取するものは含まない。

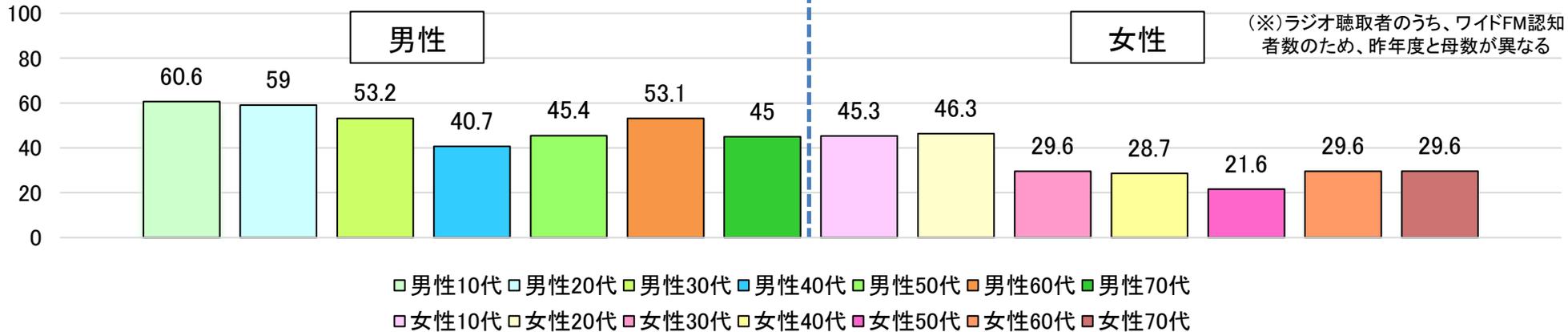
ワイドFM対応機器保有率(性年代別)

- ✓ ワイドFM認知者では、全体の過半数(52.9%)が対応機器を保有している。
- ✓ 保有している機器がワイドFMに対応しているか「わからない」という層も一定程度存在するため、ワイドFM対応機器保有率が実際にはこの数値を上回っている可能性もある。

ラジオ聴取者数に対するワイドFM対応機器保有率

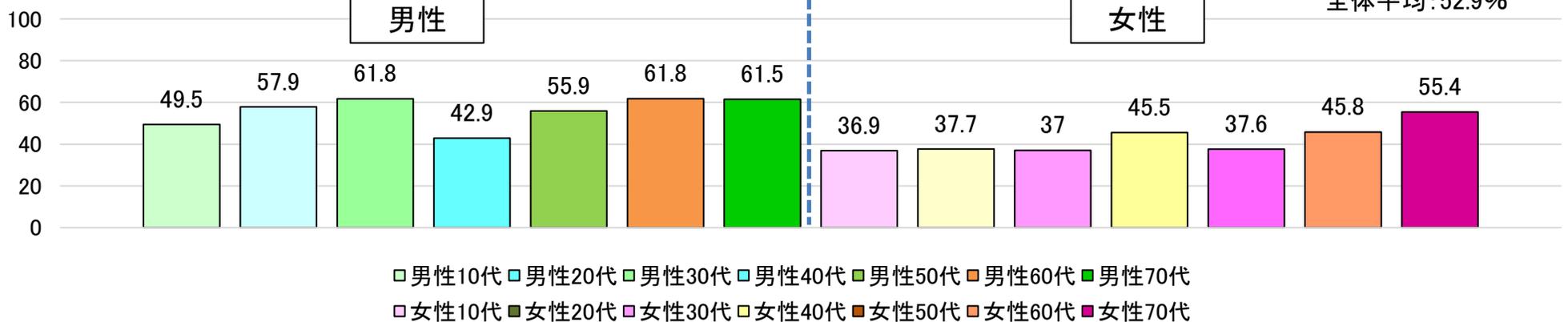
ラジオ聴取者: N= 2,071(※)
全体平均: 40.4%

(※)ラジオ聴取者のうち、ワイドFM認知者数のため、昨年度と母数が異なる



ワイドFM認知者数に対するワイドFM対応機器保有率

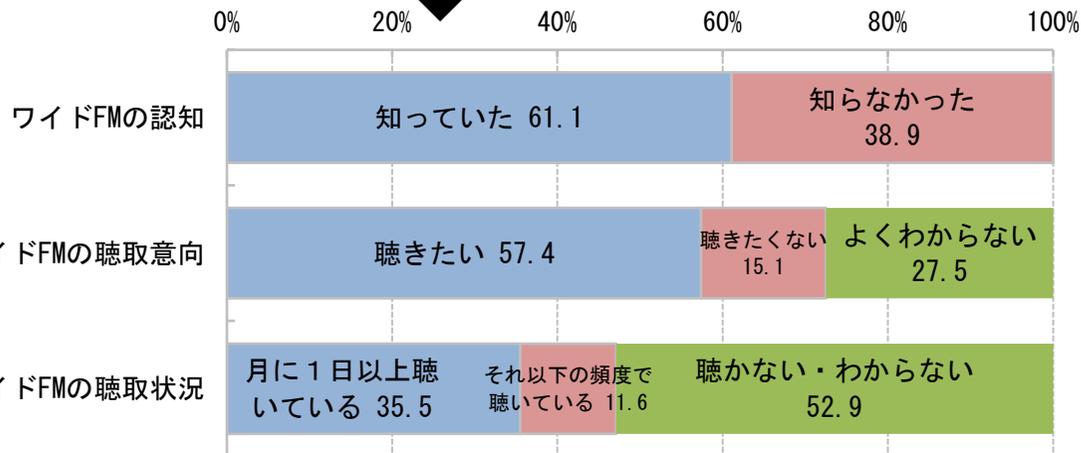
ワイドFM認知者: N= 3,033
全体平均: 52.9%



- ✓ AMリスナーのワイドFM認知度は61.1%に上り、昨年度の結果(54.9%)（※）を上回る結果となっている。また、約1/2は既にワイドFMの利用経験がある。
- ✓ 一方で、AMリスナーの中でも、ワイドFMについて「聴かない・わからない」という層が過半数存在し、その約7割を男女50～70代が占めている。

ワイドFMの認知

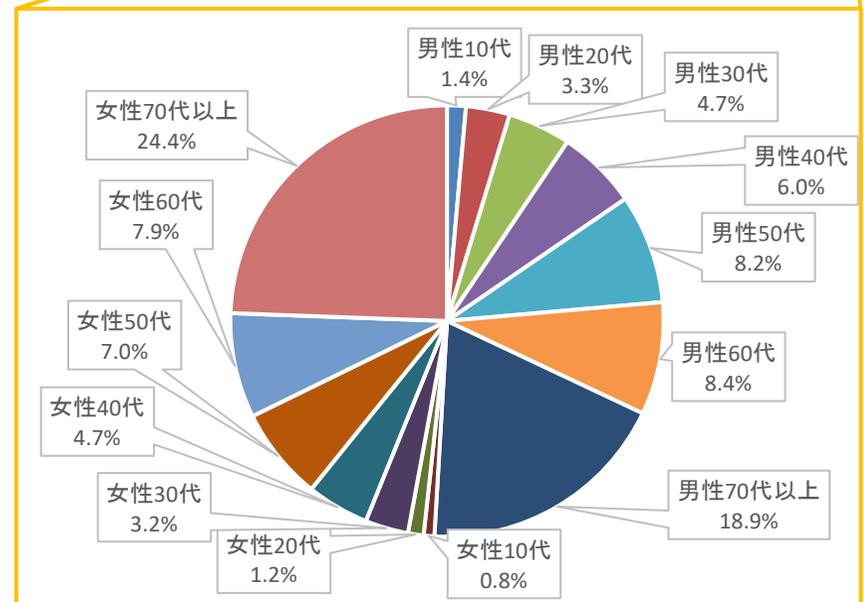
全回答者 N=11,049	100.0%
ラジオ聴取者 N=3,967	35.9%
AMリスナー N=2,957	26.8%
聴取媒体問わず、月1日以上聴取	



ワイドFMの聴取状況

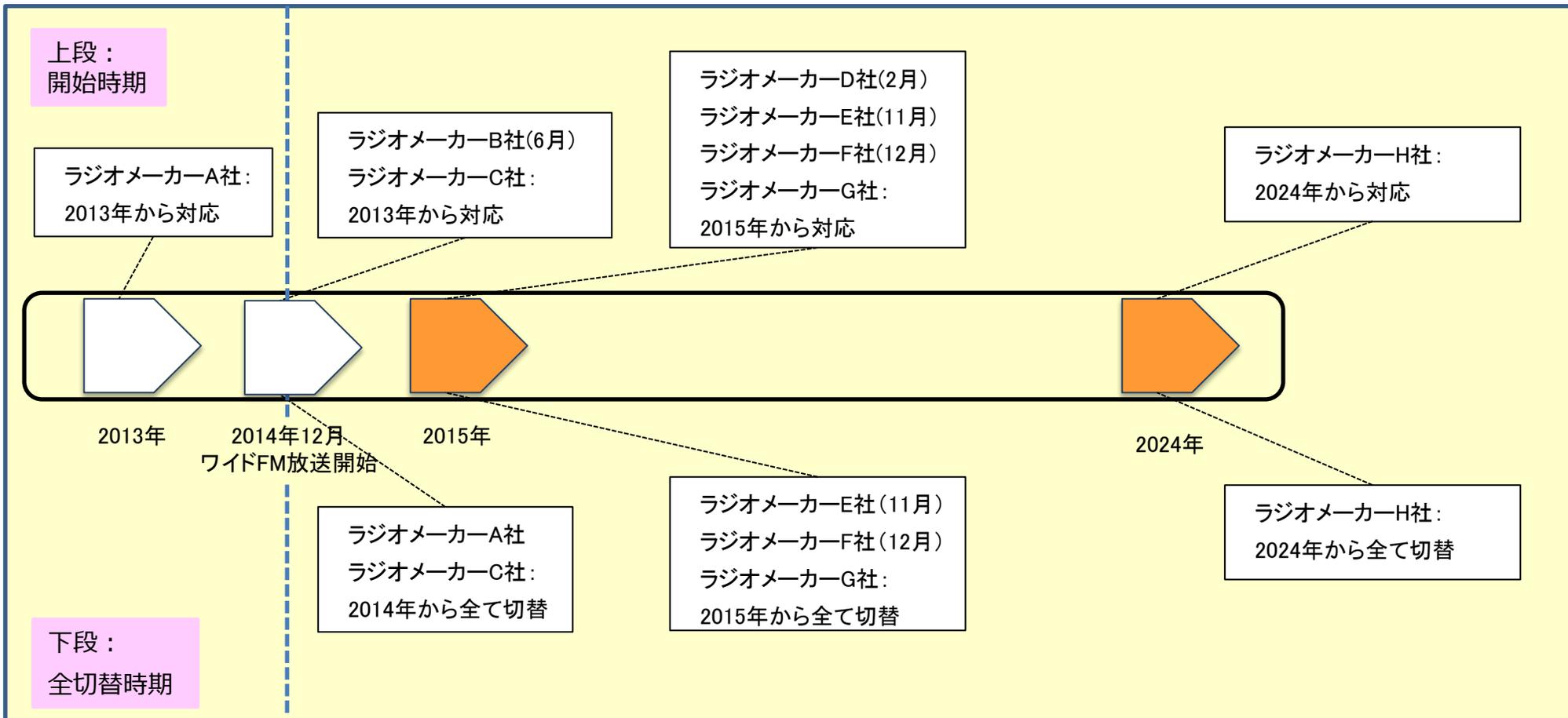
（「聴かない・わからない」層の聴取者 N=1,564）

ワイドFM定期聴取者	不定期聴取者	聴かない・わからない
35.5%	11.6%	52.9%



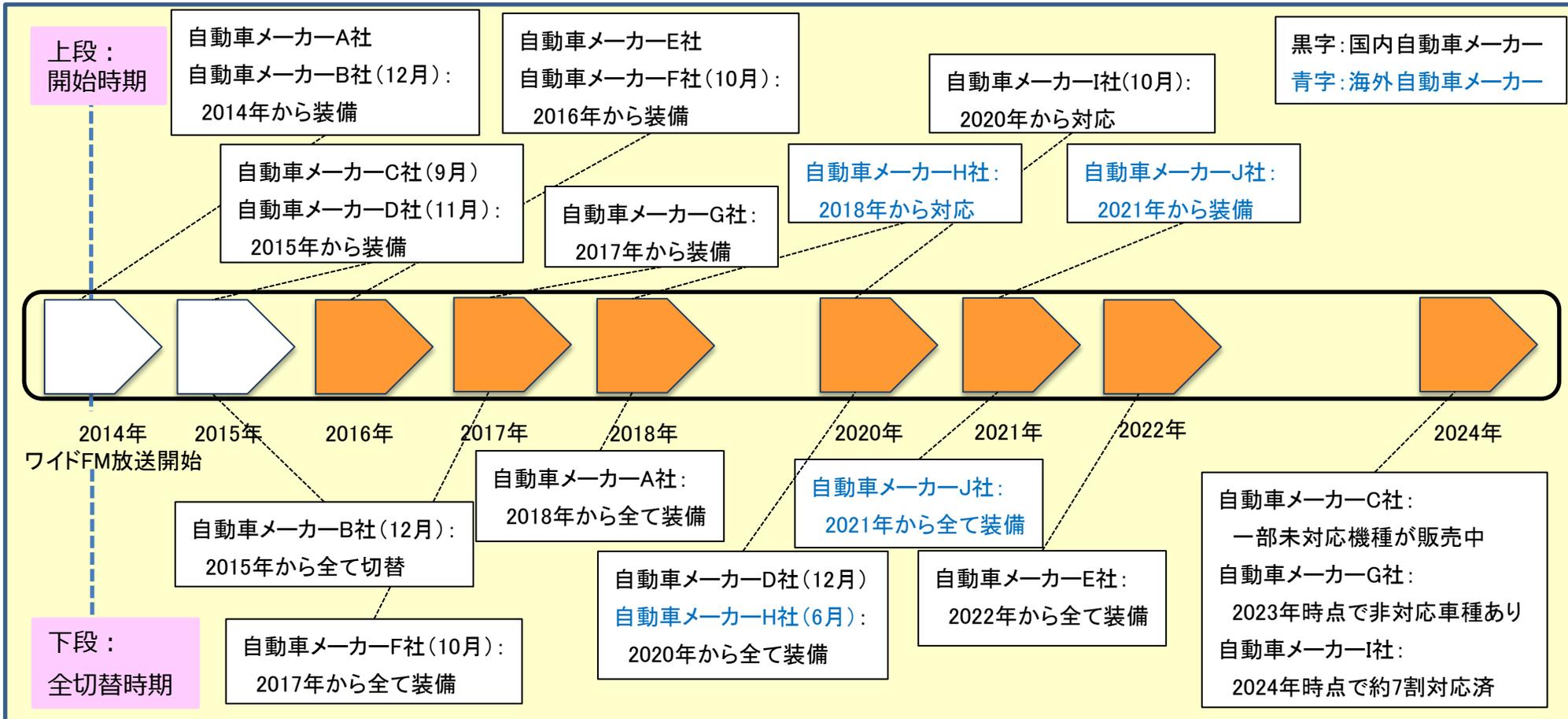
ワイドFM対応状況

- ✓ 国内ラジオメーカーでは、2015年以後に生産しているラジオ受信機について、基本的にはワイドFM対応となっている。
- ✓ ワイドFM放送が開始する2014年以前から生産を開始している社もあった。



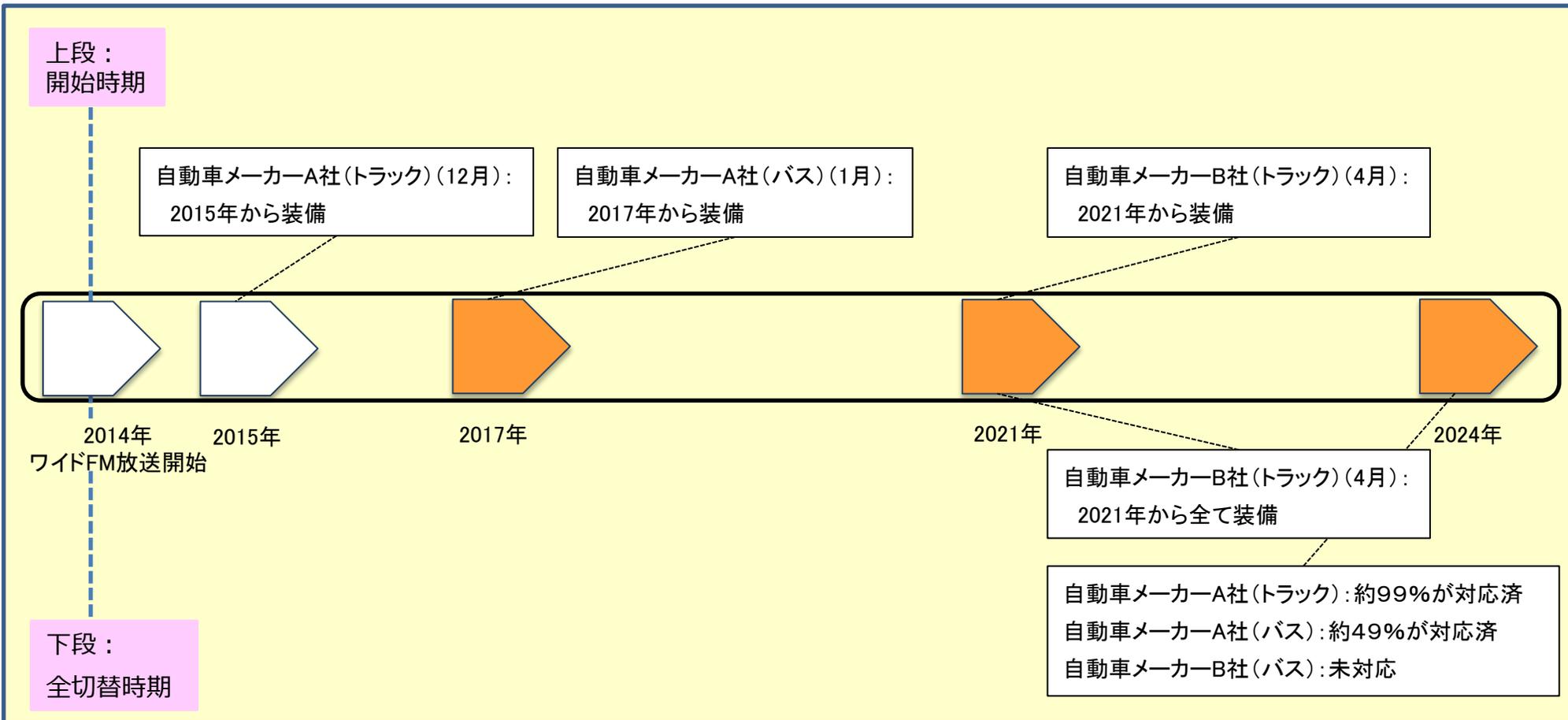
ワイドFM対応状況

- ✓ 国内自動車メーカーのカーオーディオについて、乗用車は2018年以後の生産では基本的にはワイドFM対応となっている。
- ✓ 海外自動車メーカーが日本で販売している乗用車のカーオーディオについても、2018年以降の生産から基本的にはワイドFM対応となっている。



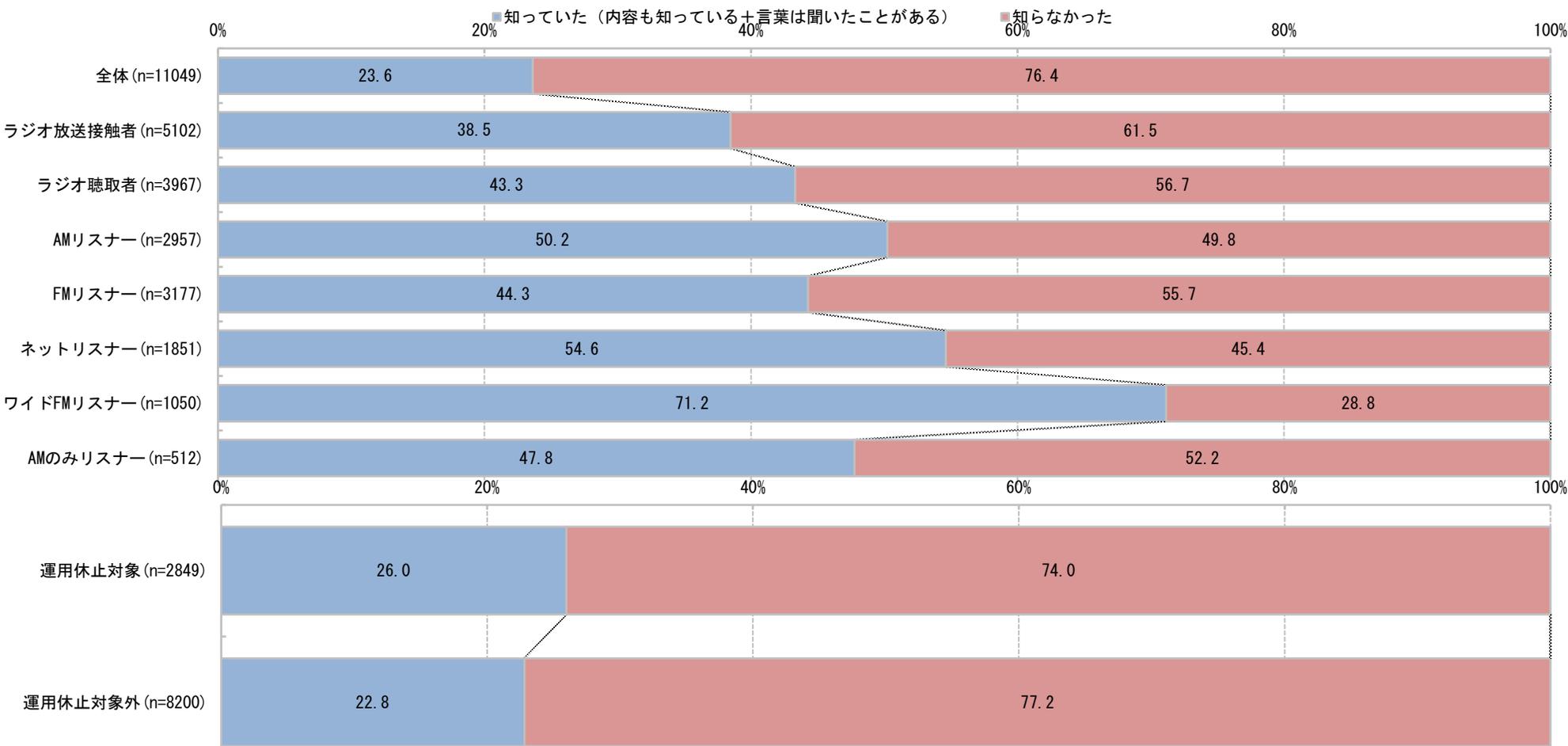
ワイドFM対応状況

- ✓ 国内自動車メーカーのカーオーディオについて、トラックは最も対応が早かったメーカーは2015年から対応開始しており、基本的にはワイドFM対応となっている。
- ✓ バスはワイドFM対応割合が比較的低い。



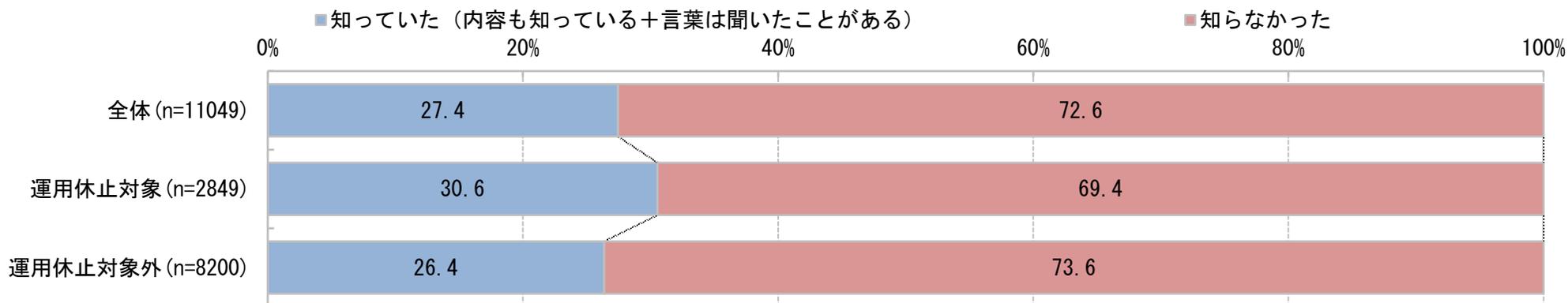
聴取者タイプ及び地域別の認知度

- ✓ FM転換に関する認知度について、全体では76.4%が「知らなかった」と回答した。
- ✓ 聴取者タイプ別に見ると、ワイドFMリスナーが「知らなかった」割合が最も低く、28.8%であった。AMリスナーは約半数が認知している結果となった。
- ✓ 「AM局の運用休止に係る特例措置」に基づきAM局の運用を休止している地域(以下「運用休止地域」という。)においては、FM転換の認知度は26.0%であり、それ以外の地域(22.8%)より若干上回る結果となった。



運用休止地域におけるワイドFMの認知度

- ✓ 運用休止地域におけるワイドFMの認知度は、30.6%であり、それ以外の地域（26.4%）より若干上回る結果となった。



運用休止地域におけるインターネットラジオの認知度

- ✓ 運用休止地域におけるインターネットラジオの認知度は、51.1%であり、それ以外の地域（50.7%）と変わらない結果となった。

